



わかさ

消防だより

編集・発行

若狭(組)消防本部

小浜市大手町7-8

TEL 53-0119(代)

<http://www.wakasa-fd.jp>

第84号



**火災や救急が目の前で発生した時、
あなたは落ち着いて119番通報 できますか？**

119番通報は冷静に

①緊急通報は119番へ

慌てると消防署への緊急番号が出てこないことがあります。110(警察)、117(時報)や104(電話番号案内)に間違えてかけてしまうということは実際にあった話です。まずは落ち着いて119番へ。



②119番通報のポイント

まずは自分の身の安全を確保してから落ち着いて119番に電話をかけてください。固定電話でも携帯電話でも通報できます。そのあとは、通信員の問いに答えてください。例えば火災の場合は「出火場所(住所、氏名)」や「けが人の有無」などを聞きます。また救急の場合には応急処置をお願いすることがあります。応急処置の方法については電話がつながったままこちらから指導をしますので、それに沿って実施してください。



③間違った119番通報

緊急でない場合に119番をかけられる方もいますが、こちらは一般電話におかけください。例えば、「今日の休日当番医を教えてください」や「古い消火器はどう処分すれば良いの?」といった緊急を要しない内容が挙げられます。また、災害が起こりサイレンを鳴らして消防車が走ると、119番通報で問い合わせをされる方がいますが、こちらは**52-4646が専用ダイヤル**となっています。また、インターネットによる**若狭消防組合のホームページでもリアルタイムで災害発生情報が掲載されています**のでこれらの方法により問い合わせをお願いします。



④よくある話

特に救急要請の場合、「サイレンを止めて来てください。」と通報者に言われることがありますが、サイレンを止めることはできません。なぜならこの時、消防車や救急車は緊急を要するために出場しているからです。**1分1秒でも現場に早く安全に到着するためにサイレンを鳴らして走ることに御理解をお願いします。**



住宅用火災警報器は定期的に作動点検をしましょう

消防出初式が挙行されました

1月5日から7日にかけて、若狭消防組合管内4市町で消防出初式が挙行されました。平穏無事な一年であることを祈願それぞれの行事が行われる中、消防団員は今回から新たに配備された防火衣を身にまとい、一斉放水を実施しました。



消防職団員を観閲する松崎管理者



新しい防火衣をまとい、一斉放水をする消防団員

軽可搬消防ポンプを更新配備



平成29年2月、若狭町海士坂区に組織する海士坂婦人消防隊の軽可搬消防ポンプが更新されました。

これまで使用していたポンプは平成6年に配備しており、22年が経過していました。

この事業は、宝くじの助成金で実施する平成29年度コミュニティ助成事業により整備されています。



～消防ポンプ自動車が新しくなりました～

平成28年11月29日、若狭消防署に配備する消防ポンプ自動車が入庫されました。この車両の最大の特徴は、圧縮空気泡消火装置（CAFS装置）が搭載されている点です。この装置は、車両内で少量の水と消火薬剤を混ぜ空気を圧縮し泡をすることで、従来の約10分の1の水量で消火ができ、また、ホース内には泡が通るためにホースの重さについても4分の1になることで、迅速な消火活動が可能となっています。



新しく配備された消防ポンプ自動車



CAFS装置を使用しての放水の様子

平成28年 火災・救急・救助統計 (若狭消防組合)

	本 署	上中分署	名田庄分署	高浜分署	大飯分署	合 計
火災	9 (+1)	4 (+4)	2 (+2)	9 (+2)	2 (-1)	26 (+8)
救急	1,293 (+33)	293 (-11)	133 (-24)	437 (+9)	237 (-21)	2,393 (-14)
救助	19 (-1)	7 (+2)	4 (+2)	3 (-5)	5 (+1)	38 (-1)



★火災件数は、26件 (前年比8件の増加)

火災種別では、建物火災が12件(前年比5件増)、車両火災が3件(前年比2件減)、その他火災が11件(前年比5件増)でした。

出火原因をみると、建物火災ではこんろ、たばこ、取灰等があげられます。その他火災では、焚火、火入れにより拡大した火災が2件発生しています。

★救急出場件数は、2,393件 (前年比14件の減少)

医療機関に収容した患者数は2,319人で、65歳以上の高齢者が占める割合は1,503人で64.8%でした。

出場種別では、急病が1,513件で全体の63.2%を占めています。



★救助出場件数は、38件 (前年比1件の減少)

出場件数38件のうち活動件数は26件(前年比2件増)で、救助された人は28名(前年比3名減)でした。事故種別では交通事故が24件(63.2%)でした。

春の火災予防運動

3月20日(月)～3月26日(日)

平成28年度全国統一防火標語

消しましょう その火 その時 その場所で

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

3つの習慣

- **寝たばこ**は、絶対やめる。
- **ストーブ**は、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- **ガスこんろ**などのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災警報器**を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、**防災品**を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、**住宅用消火器等**を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、**隣近所の協力体制**をつくる。